

6—201—0

(袋表書)

「家鋪絵図入

緑乃舎」

(袋裏書)

「図面俗

みとり屋」

6—201—1

①—1—1

巳 巽 辰 乙 卯

(朱書)「五月□□よし」 「三月可申候
五月よし」

(貼紙)「魚座」

①—1—2

甲

(貼紙)「雪隠 雪隠入 □」

①—1—3

本宅五間九寸ナリ

丙 南 丁 未

(朱書)「至極よし」 表口

式畳 (朱書)「此式畳不宜
三畳ニてよし」

中戸

六畳 十畳

(貼紙)「六畳」

押詰 板畳出口 トコ

①—2—(①—1—1貼紙の下)

此明地式間半九寸 隠居四間半式尺三寸

(朱書)「此建物至極よし

大切ノ場なり」

①—3—(①—1—3貼紙の下)

① 仏段

小畳式畳

六畳

②—1

寅 艮

(朱書)「此処へ北ノ土蔵引てよし」

「此所井寅年堀て

大ニ繁栄ノ氣起申候」

明地茶園 貸蔵

(貼紙)「此建物方角不宜承伝候ニ付

来申正二月頃

取除度方角如何

承り度候事」

②―1貼紙の下(③にあり)

(朱書)「此土蔵あり所極

あし寅ノ正当

ニ建大ニ幸あり」

貸蔵

③―1

雪隠 出坪

(朱書)「よし」 長家 物置

③―2

(朱書)「よし」 小長屋 同 井

④―1

(貼紙)「此所ニ来申春ニ至

式間半ニ六間半土蔵

建度所存也、如何哉

御考希候事

此春家主事四十五歳庚子年男」

貸家竈四軒

(朱書)「此建物十分不好場所なれとも

貸家なれハ可也、申戌に異事あり」

文化七年午初秋頃建立

丑

④―2

北

裏門口

(朱書)「裏門場所不宜候得共

外ニ明ヶ場無之様ニ

相見候得_者無_レ扨_一

癸

(朱書)「此場所宜候得共半分北_ニて

午とし建とし方災ありてあし」

貸家竈六軒

文化七年午夏建立

貸家三軒部家也

⑤—1
↓①—3

⑤—2

湯室 (朱書)「此所ノ作事八月吉」

板敷 料理所

湯殿 致し度

老間半 小用所

大釜 平釜

(朱書)「此所作事当七月吉」

(朱書)「此(以下破損)」

後戸口

十口クト

六畳

八畳

此所_{ニ而}湯殿 建候_{而者}如何哉

三畳 外_ニ小畳

元ト八九畳当時

置シキ有六畳_ニ

三畳と分ル坎

縁板畳式畳

(朱書)「此二間ノ場所大切ノ処_ニて御座候

取崩ス事至_而あし、若御取除

被成候得_者往々衰微と相成候」

八畳

十一畳

(朱書)「此所作事五月吉」

(朱書)「此九畳十畳_ニてよし

猶直シかた少し子細

御座候」

板畳

⑤—3

本宅境より西吉祥院小路迄八間都合式拾間四尺壱寸

路次口 坤

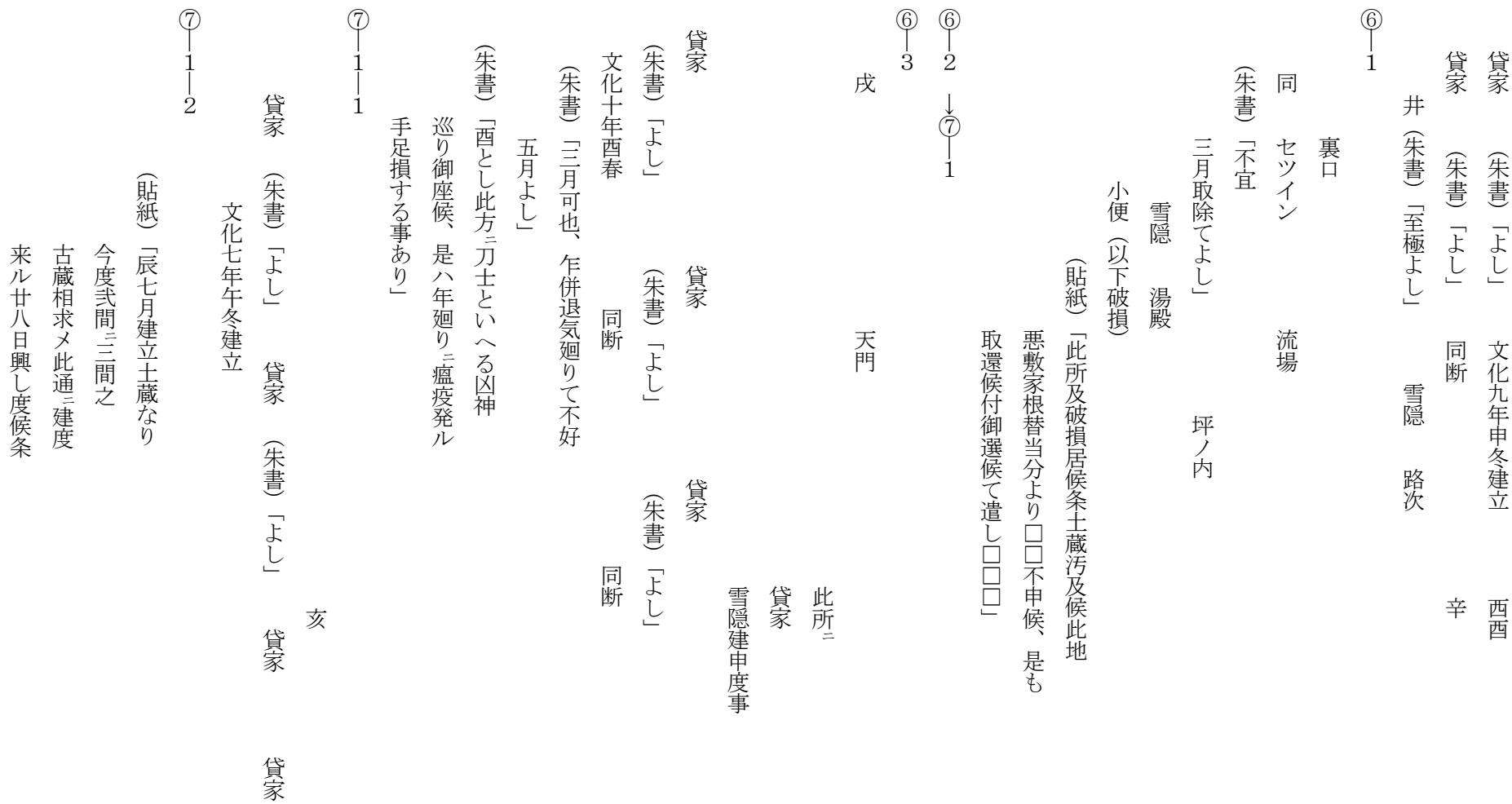
申

庚

(朱書)「悪 路次此所吉」

(朱書)「この辺樹木御切取可被成候

後年衰微を司るあし」



但此所是迄有候味噌蔵

取除場可相談申上候間

与得御考可被下候、尤仮置御座候」

(朱書)「此分少シ方災あり」

薪小家

文化七年建

(朱書)「此辺大松ありて不宜

きりて不宜候間根を

きり廻シ居宅へ根ノ

不入様御手入可被成候」

路次口

⑦—2 (⑦—1—2貼紙の下)

(朱書)「よし」

味噌部屋

午冬 此所寄ル

⑧

(朱書)「文化七年午ノ年此亥ノ方より子丑方迄ニ歳ノ三殺といへる

悪殺巡りありて此方角ノ

普請造作ニハ三年迄ノ内又遅ければ五年七年迄ニハ必

小兒ノ剋害ノ衰ヒあり、依テ是を小兒殺といふ」

庚子土姓男子

壬

(朱書)「此場所宜候得共半分より北ニて

午としノ方災あり」

貸家竈五軒

文化七年午春建立